

「安心・活力・発展プラン2015」中間見直し委員会 第2回活力部会 委員意見要旨

No.	項目	発言要旨
1	産業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITは創業に向いている業種</li> <li>・ノマドワーカー・フリーランスの人たちのIT関連企業に占める割合は多い</li> <li>・実際、自社のIT技術者のうち、1/4が個人事業主・フリーランスの方</li> <li>・そこそこが創業のソースになる人たちであり、情報・サービスの創業にもっと力を入れるべき</li> </ul>
2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノマドワーカー等、新しい働き方の習性を分析し、どうやったら大分に来てもらえるか研究が必要</li> </ul>
3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT技術者の獲得という切り口では、創業の環境が大事</li> <li>・大分という地域の中で、どういう環境で創業するか</li> <li>・アクセスや人の集まる場所、趣味の切り口と働く場所との距離感など、どういう出口をイメージして創業するかという視点が必要</li> <li>・大分県の豊かな環境、大分らしさを前面に打ち出すべき</li> </ul>
4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・老舗企業、昔ながらの手法等、大分こそその企業を守る支援もあってよいのではないか</li> <li>・そうすることによって世界に向けても価値のあるものが大分に残るとともに、次の担い手も残っていくことになる</li> <li>・各市で課題を把握・分析し、県としても支援して欲しい</li> </ul>
5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・APUの学生には独立志向の学生が多いが、そういった方をうまく取り込むため、県としてもっとアピールすべき</li> </ul>
6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊業は、数が減っていることに加え、新しく始める人が少ないことも問題</li> <li>・海外の知人が中津市に移住し、ゲストハウスの開業を計画しているが、外国人の視点では非常に魅力のある地域資源があるという</li> <li>・古民家等のリノベーション支援、町並みの保存等、外国人視点の資源開発を支援できないか</li> </ul>
7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・県のサービス産業の生産性向上セミナーは非常に役にたつものだった</li> <li>・雇用する側として、短時間勤務の女性を確保することも有効と実感した</li> <li>・コワーキングスペースが近くにでき、働きやすくなったことに加え、若者の力を借りやすい環境が実現できている</li> <li>・エストニアくらいIT技術が我々の生活に落とし込めれば便利になると感じている</li> </ul>
8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅館・ホテル業は装置産業でもあり、どうしても起業の際、インシャルコストがかかるため、企業誘致の際の減税措置のような支援があると、一歩踏み出しやすい</li> <li>・高校・大学との連携が必要</li> <li>・SNS等により世界に発信するための行政の支援があるとよい</li> <li>・RPAの導入にもインシャル・ランニングコストがかかるため、何らかの施策があるとよい</li> </ul>
9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の農村は外国人にとって魅力的と言われるが、自分たちは気づいていない</li> <li>・泥田でのラグビーやサッカーのイベントにより、留学生等の発信力を借りることができたらよい</li> </ul>

No.	項目	発言要旨
10	産業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社を創る際、ヒト・モノ・カネが必要だが、会社が成長していくと経営者はストレスが増える</li> <li>・会社経営ノウハウとともに、勇気づけをしてくれる先輩等、メンターのようなものがあるとよい</li> <li>・米国等のVC(ベンチャーキャピタリスト)のように、一緒に仕事に取り組んでくれるVCを探し、マッチングしてくれるような取組があるとよい</li> </ul>
11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・先端技術など、新たな素材が発生するたびに、将来の廃棄の問題が出てくるため、処理の技術やコストのことも同時に考えていくべき</li> </ul>
12		<ul style="list-style-type: none"> <li>・先端技術の開発について、大学、メーカーと現場の連携が大事</li> </ul>
13		<ul style="list-style-type: none"> <li>・トリップアドバイザーの活用が重要</li> <li>・まずは知ってもらうことが大事であり、観光地情報をQRコードで表示すべき</li> <li>・観光客の発信による口コミ効果は大きい</li> </ul>
14	出産・子育て女性の活躍	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性活躍の事例として、機械化などによって人材不足に対応するより、フレックス制や休憩所等、働きやすい環境整備により人材を確保している企業がある</li> <li>・仕事の内容に応じて必要人数を確保するという考え方から、人数に応じて仕事を選ぶという発想の逆転もある</li> <li>・こういう企業の支援と、その考え方を県としても発信して欲しい</li> </ul>
15		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のPTAに出席しているのは女性ばかり</li> <li>・まず、男性がPTAに出るところから始めるとよいのではないか</li> </ul>
16		<ul style="list-style-type: none"> <li>・見直し委員会の会場にいる県職員はほぼ男性</li> <li>・まずは県が率先して女性の登用をすべき</li> </ul>
17		<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅館・ホテル業は女性が多く、業種・組織によって異なる面もある</li> <li>・子育てを進んで担う女性もいるなど、人それぞれの働き方もあるが、多様な働き方を支援できるものが不足しているのではないか</li> </ul>
18		<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣住民の子育て支援など、よい意味でのおせっかいがある大分県、ということを外向けにPRできるとよいし、そういったことを再確認・共有するためにも機運醸成は重要</li> </ul>
19		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人親にとって、旅館・ホテル業は勤務時間の関係上、子どもを預けにくく働きにくい</li> </ul>
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6割近くの若者が結婚相手を探していないという報道があった</li> <li>・今の若者達が、将来を見据えて出産・育児に向かってもらえるような大分県にしてほしい</li> </ul>	

No.	項目	発言要旨
21	出産・子育て 女性の活躍	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の社会的制約について、実際にはないのにあるようにすり込まれている、また、ロールモデルがないためにそうしてはいけないようになっている、というようなこともあるのではないか</li> <li>・公共的な会議等で、男性のみということに疑問を感じる</li> <li>・女性が活躍している場面を見て育つかどうかで大きく変わっていくと思う</li> </ul>
22		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育ては女性の仕事、という状況で育った親から育てられた子どもも同じようになる</li> <li>・働き方改革を進め仕事の効率化を図り、家庭に帰って少しでも家庭の助けになるべき</li> <li>・特に教育現場を含め、県が見本を見せるべき</li> <li>・結婚に魅力を感じない、産み育てることに不安を感じる子どもたちに、子育ての楽しさを伝えるとともに、大分での生活費、暮らしやすさ、子育てのしやすさを早い段階で教えるべき</li> </ul>
23		<ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉に毎日行くことにより、移住先でも多くの老人等から支えてもらっており、一人親の状態でも何不自由なく暮らせている</li> <li>・転勤家族でも、暮らしやすさにより夫の転出後も母子が竹田に残るという事例もある</li> <li>・こういったことは大分県にしかできないことであり、都会では母子家庭では暮らしていけない</li> <li>・家族で温泉に入ることへのサポートがあるとよい</li> </ul>
24	人材確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・儲かっている会社のやり方、仕組みを広める指導をして欲しい</li> <li>・大学の研究者、技術者等呼び、企業と繋ぐ取組が必要</li> <li>・企業と学校も、教育委員会と連携して結びつけていただきたい</li> </ul>
25		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保の前に人材育成が大事</li> <li>・あいさつができないなど、人として問題のある人材もあり、その対応も必要</li> <li>・職員が民間企業に引き抜かれる組合もあるが、そうならないよう、給与をしっかりと支払い、プライドが持てる職場になることが必要</li> <li>・そのためにはしっかりと経営できる人材の育成が必要</li> </ul>
26		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人手を募集するが、近年、職業安定所には人が来ない</li> <li>・今の若者はネットか情報誌が情報源の主流であるが、すぐに勤務条件などの情報が見つかるシステムの整備があるとよい</li> <li>・若者を呼ぶためには高校・大学における整備が必要</li> <li>・農大卒でも就農しなかった人、離農した人の率・理由などの分析も必要</li> </ul>
27		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツーリズムにおいても人材確保が最大の課題</li> <li>・若者が減少しており、70代の高齢者に経営を頼っている状況</li> <li>・高齢者は粘り強い、責任感が強い、精神力も強い、情が厚い</li> </ul>
28		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツーリズムではコミュニケーション、意思疎通が大事</li> <li>・外から来た、情報発信ができる若者も増えてきたが、それをどう地域に繋げていくかが重要</li> <li>・行政職員も近く、一緒にやっていく場面も多いため、行政と市民のコミュニケーションも大事</li> </ul>
29		<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近、採用費という言葉があり、1人確保するのにトップ人材で100～150万円、オペレーターで30万円、専門性のある人材で50万円程度かかる</li> <li>・仮に1,000人の応募があった場合、本当に面接に来るのは200人くらいで、最終的には20人程度しか採用できないというのが人材業界では普通であり、採用が本当に難しい状況</li> <li>・人材を本気で確保しようと思えば、応募を増やすために、キャッチコピーと企業の魅力の広報が重要であり、クリエイターを活用したキャッチコピーなども解決策になり得る</li> <li>・採用募集は、自社がどれだけ魅力的な会社になるか、給与や制度を見直すよい機会</li> </ul>
30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保において高齢者の活躍は大事</li> <li>・造林作業でも多くの高齢者が採用されている</li> <li>・作業内容の正確な情報など、募集方法をちゃんと考えれば人は集まるのではないか</li> </ul>	